

第1回日本数学 A-lympiad 解答例 審査委員コメント

(金沢大学人間社会研究域学校教育学系 伊藤 伸也 准教授)

この「解答例」では、“Part 1”において、3つの学校に一定数のワクチンを配分する複数の方法と、その配分により接種することで感染を予防できる人数について、“Assignment 5”で得た結果をもとにそれぞれ検討しています。そして、その中から、生徒数に比例してワクチン数を配分する方法が最適な配分方法であると判断されることを、倫理的側面を考慮したり、感染を予防できる人数が比較的多い方法であることを確認したりすることで、説明し結論付けています。さらに、“Part 2”において、各学校における教室（学級）と机の配置についても考慮することで、各教室（学級）におけるワクチンの配分や机の配置の一般的な方法について検討し、提案しています。

この「解答例」は、図、表、グラフ、式等、多様な表現を伴い、数学を用いて判断の根拠を明らかにするものであり、読み手が意識され、読みやすく明確です。また、配分方法を考案する際の着想や、条件を設定して考察したり近似して考察したりしている点等において、数学的創造性の一端が見受けられます。ただし、この「解答例」および付記には、数学的に、あるいは英文解釈や言語表現上、誤りや不十分な点等が含まれており、審査の観点から相対的に優れている「解答例」であることに留意してください。